

1. 町民サービスについて町の考え方を問う

開成町は、人口減少が進む県西地域の中で唯一人口の増加傾向が続き、今年の3月からは開成駅に急行が停車し、人口増加に拍車をかける環境が整った。

さらに現在建設中の役場新庁舎も予定通り進行し、2020年5月のゴールデンウイーク明けからは供用が開始される運びとなっている。

また、瀬戸屋敷周辺では北部交流拠点施設の建設や、駐車場の拡張が行われ、建物を始め公共施設整備などハード面の充実は着々と進んでいる現状にある。

しかし、町民にとって建物などが立派であることだけで、移り住みたい町、住んで良かった町、住み続けたい町と果たして言えるのか。

立派な新庁舎の外見に相応しい中身、町民サービスの向上や、安全安心が担保され、子育てや教育、高齢者が健康で元気に過ごせるなど、町民が身近で肌身に感じる福祉の充実が大変重要であり、ハード面の充実と中身の充実のバランスが取れて初めて、住みたい・住み続けたい居心地の良い町になるのではないかと考える。

そこで本町における町民サービスについて、町の考え方を問う。